中庭展示 vol.22

4.18[土]▶11.23[月]

中庭展示は、美術家の森迫暁夫さんのインスタレーションを取材。

取材当日は、札幌在住の森迫さんにリモートでインタビューもしたよ！

(編集部)

わたしは今回、森迫暁夫さんにインタビューをしました。中庭てんじは、いらなくなった物、(ゴミ)を集めて作ったそうです。下にカッパえびせんなどのふくろがしいてありました。それは、森迫さんが1人で食べた物だそうです。

森迫さんは、これまでに、今回のようなてんじを3回して、そのうちの2回は1かいだてで、今回6かいだてでした。高さは、4.5mほどあるそうです。

森迫さんは、げん代に縄文を考えると、縄文にエモさと面白さと大切さを感じていたい！結局はすべてはなぞである、と書いています。

(大原ちづる)

もしかして縄文人

森迫 暁夫



イラスト
岡本 和

よく見ると、軍手でできた、人形やライター、ボウリングのピンとか、かんづめのふたなどがあった。一番おどろいたのは、カップヤキソバの湯切りのふたがあったのにおどろいた。ゆかにはぎっしりと、ポテトチップスのおかしのふくろなどがひいてあった。今回の展示では、音がなるようにいしきして作ったようなので雨の日に見に行くのも楽しそう。

森迫暁夫さんの話で印象に残っている事。おかしのふくろなども、目線をかえるとたから物になるので今回の展示では、そのたから物をたくさん並べた。おやつを食べすぎないようにルールを決めている。例えば、50周年とか何周年のとかは、買ってよいと決めている。

時間はおもしろい。海でひろってきた、ビンなども、何年まえのものかわからないからそうぞうするのが楽しい。

BGMを作る仕事の時に、えんぴつや、缶などの、たたくと音がなりそうな、ものをめちゃくちゃにたたいた音を聞いてみたら案外聞いてられたので、音が出るのを作りたいと考えて、今回は、音が出るのをいしきして作った。

(岡本到)

中庭展示の中に、「とんねるです」と書かれてあったので、下にはなにがあるのかが気になりました。

(小原幸悠)

イラスト
大原ちづる

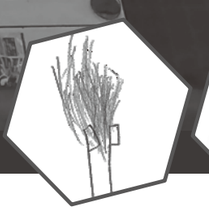




イラスト
山本丈太郎

広報紙「びとこま」第36号／4-5ページ［2026年8月発行］　編集：子ども広報部 びとこま、苫小牧市美術博物館、NPO法人 樽前artyプラス　発行：苫小牧市美術博物館（北海道苫小牧市末広町3丁目9-7）